

付 録

平成 14 年度研究開発支援総合ディレクトリ(ReaD) 調査票

1. 調査票記入の手引き：研究者 DDB
2. 新規研究者 DDB 調査票

平成14(2002)年度
研究開発支援総合ディレクトリ (ReaD)

調査票記入の手引き：研究者 D D B



この手引きは「ReaD データ入力機能」によるオンライン入力時にも参考にしてください。

目 次

1. 研究開発支援総合ディレクトリ（R e a D）調査について	2
2. 情報の登録更新について	3
3. データ入力機能を使った回答方法	3
4. 調査票への記入方法	4
5. 項目ごとの詳細説明	5

項 番	項 目 名	項 番	項 目 名
1	調査票記入日（必須）	1 8	研究経歴
2	インターネットでの一般公開の可否（必須）	1 9	研究職歴
3	氏名（必須）	2 0	受賞学術賞
4	生年月日	2 1	所属学会
5	性別	2 2	共同研究等希望テーマ
6	文部科学省科学研究費研究者番号	2 3	共同研究・受託研究の実績
7	所属機関名（必須）	2 4	研究業績（著書、発表論文等）
8	所属部署名	2 5	研究業績（特許）
9	職名	2 6	研究業績（芸術系の活動、フィールドワーク等）
1 0	連絡先	2 7	海外研究活動のための渡航回数
1 1	電子メールアドレス	2 8	海外での国際会議・学会への出席回数及び発表回数
1 2	ホームページURL	2 9	使用する外国語
1 3	出身大学院・研究科等	3 0	おすすめURL
1 4	出身学校・専攻等	3 1	提供可能な資源
1 5	取得学位	3 2	研究者写真
1 6	現在の専門分野	3 3	その他
1 7	現在の研究課題		

付録 1	コード表 A（学校機関コード）	21
付録 2	コード表 C（大学院研究科コード）	26
付録 3	コード表 D（大学学部コード）	27
付録 4	コード表 F（科研費分類コード）	28
付録 5	コード表 R（R e a D 研究分野コード）	34
付録 6	コード表 S（研究制度コード）	39

1. 研究開発支援総合ディレクトリ(Read) 調査について

1 Read とは

研究開発支援総合ディレクトリ(Read)は、国内の研究機関と、機関に所属する研究者に関する情報を収録し、研究成果の活用、産学官の連携、共同研究・融合研究等の推進等を情報面から支援することを目的として、平成10年8月1日より科学技術振興事業団が作成・提供しているデータベースです。

また今年度からは、これまで文部科学省国立情報学研究所が実施してきた「大学等の研究活動を総覧するデータベース構築のための調査」および「学術研究活動に関する調査」を引き継いでおります。

Read には「研究機関」「研究者」「研究課題」「研究資源」の4つのディレクトリがあり、それぞれの収録情報は Read ホームページ (<http://read.jst.go.jp/>) から、どなたでもご覧いただけます。

2 調査結果の利用

(1) Read におけるインターネット一般公開

研究者データを全面的に非公開にすることができます。また公開する場合でもプライバシーに関わる項目（連絡先・生年月日等）は選択的に非公開とすることができます。インターネットでの非公開を希望される場合も、(2) (3) (4) の目的のため、調査へのご協力をお願いいたします。

(2) 学術・科学技術及び高等教育政策の企画・立案のための資料としてデータ提供・利用することがあります。

(3) 大学・研究機関等からの要請、または当該機関の了解を得た関連機関からの要請に基づいて、当該機関の情報（所有する研究資源、所属する研究者のデータなど）を当事業団から提供します。

(4) 国立情報学研究所における利用

(a) 調査結果を集計し統計資料として公開するとともに、我が国の学術研究動向等に関する研究のための資料として利用します。

(b) (1) で許諾を得たデータを国立情報学研究所の「学術コンテンツポータル事業」において利用します。

なお、公開する場合は Read での公開範囲に準じて実施します。

3 調査対象機関

国立研究機関（大学共同利用機関、所管庁施設等機関を含む）、独立行政法人、特殊法人、認可法人、公設試験研究機関、学校機関（国公立等の大学・短期大学・短期大学部、高等専門学校、その他学校機関）、公益法人等（財団法人、社団法人、その他）、企業研究施設、その他（省庁等）

4 回答の方法

① オンラインでの回答	「データ入力機能」を使って、Web から登録データを更新できます。 更新内容は数日以内に登録されます。更新方法は3ページを参照ください。
② 調査票（紙）での回答	「継続調査票」または「新規調査票」にご記入後、所属機関の窓口（管理者）にご提出ください。取りまとめ後、事業団に返送されます。 回答内容は、平成15年3月末までに事業団が順次入力更新します。 記入にあたっては4ページ以降を参照してください。
③ 電子媒体での一括回答	所属機関が事業団と別途手続きを済ませている場合に限りです。各機関窓口にご確認ください。

5 問い合わせ先

科学技術振興事業団（JST） Read 事務局

Tel：03-5214-7516、03-5992-2632

E-mail：read@tokyo.jst.go.jp

2. 情報の登録・更新について

- ・ 回答時点のデータを登録してください。
- ・ 項目によっては13年度実績を回答していただく場合がありますので、説明に従ってください。
- ・ 平成12年度及び13年度に回答されたにも関わらずデータが登録されていない場合は、所属機関の窓口または管理者にお申し出ください。過去のデータをお探します。

(1) 継続調査票が届いた場合

- ・ 継続調査票には、既にご登録いただいている研究者情報を印刷しています。
- ・ 継続調査票の冒頭で、修正方法を以下のいずれかからお選びいただきます。ご回答がない場合は「1」を優先します。「2」を選択された場合は、調査票に書き込みがあっても事業団では入力しません。

1. 修正事項は本調査票に朱書します。
2. データ入力機能を使ってWebからデータの編集を行います。

- ・ 宛名用紙に「ユーザID」が記載されている場合は、Webからデータを更新することができます。「3. データ入力機能を使った回答方法」をご参照ください。
- ・ 過去に「Read」と「学研究活動に関する調査」の両方に回答された場合、2通の継続調査票が送られることがあります。その場合はどちらか一方に「削除」と朱書きの上、2通ともご提出ください。
- ・ 継続調査票に手書き回答される場合は、継続調査票に記載された説明をお読みの上、ご回答ください。この手引きの「4. 調査票への記入方法」も参考にしてください。
- ・ 電子媒体での回答機関にご所属の研究者は、調査票の回答について所属機関管理者の指示に従ってください。

(2) 新規調査票が届いた場合

- ・ データ入力機能をお使いいただくことはできません。新規調査票に手書き回答いただくか、またはホームページ「アンケートに回答される方へ」の「新規調査票」から「新規研究者DDB調査票」をダウンロードし、入力後、印刷した調査票をご提出ください。保存したフロッピーディスクを添付いただければ幸いです。

3. データ入力機能を使った回答方法

- ・ 下記のブラウザ環境でお使いください。
Windows : Netscape Communicator 6.1以上、Internet Explorer 5.5 Service Pack 2以上
Macintosh : Netscape Communicator 6.1以上、Internet Explorer 5.1.4以上
- ・ データ入力機能を使って研究者情報を更新できるのは、「ユーザID」をお持ちの研究者ご本人と、所属機関の管理者（「機関管理者ID」をお持ちの場合のみ）に限ります。
IDパスワードの詳細は、個人宛封筒の宛名票【ご本人様控】に掲載されています。

【使い方】

- (1) Readトップページ (<http://read.jst.go.jp/>) 「アンケートに回答される方へ」から「データ更新画面へ」をクリックしてください。
- (2) 「ユーザ認証」画面にて、「ユーザID」と「パスワード」を入力し「OK」してください。パスワードを変更される場合も、この画面から行ってください。
- (3) 「更新テーブル選択」画面で「研究者DDB」の「日本語編集」をクリックしてください。英語データの更新には「英語編集」をクリックしてください。「研究者編集」一覧画面が表示されます。
(「研究課題DDB」に登録されている課題があれば、この画面から対象課題を検索し、修正することができます。新たに登録したい課題がある場合は、「日本語新規」または「英語新規」をクリックしてください。)

- (4) データはブロックごとに編集します。修正したいブロックの「編集」をクリックすると、修正追加を行うことができます。編集が終わったら「更新」をクリックしてください。一覧画面に戻ります。
- 「必須」と書いてある項目は、必ず入力してください。
- (5) 編集を中断し、その状態で保存するには、「研究者編集」一覧画面の最後の「保存」をクリックしてください。
- (6) 編集終了後、「公開申請」をクリックしてください。更新内容は数日中にデータベースへ登録されます。「一般公開の可否」で「非公開」を選択した場合は、「公開申請」をクリックしても更新情報は登録されますが、一般には公開されません。

※研究者IDに有効期限がある方は、有効期限を過ぎると使えなくなりますので、期限内にご回答ください。

※無期限のIDをお持ちの方も、「平成14年度データ」として統計用に使わせていただく関係上、平成15年2月28日（金）までに今年度の更新を済ませていただきますようご協力をお願いします。

※研究者IDをお持ちの方が転出等で別の機関に所属を替わられた場合は、転出先の機関窓口または管理者に、ご自分の所属する機関コードを確認してから、所属機関を変更してください。

4. 調査票への記入方法

「研究者ディレクトリ」の調査票は、登録研究者ご本人がご記入ください。

【記入方法】

- ・ 機関ごとの回答期限は平成14年12月26日（木）となっています。記入された調査票は所属機関の窓口（機関管理者）にご提出ください。なお、機関によっては機関内の取りまとめのため、回答期限を事前に設定している場合がありますので、機関管理者にご確認ください。
- ・ 必須項目の欄は必ずご記入ください。
- ・ 詳細は次頁以降の「項目ごとの詳細説明」をご参照ください。本手引きの記入例は「新規調査票」の書式を元に行っているため、継続調査票とは若干書式が異なる場合がございますのでご了承ください。
- ・ 項目欄中の（日）および（英）の意味は原則として次の通りです。
 - （日）：日本語版サイトに公開される項目です。日本語（英語も可）でご記入ください。
 - （英）：英語版サイトに公開される項目です。英語でご記入ください。
 - （日）/（英）の表示のない項目についてはその項目の説明によりご記入ください。
- ・ 日本語は楷書体で、欧字は活字体で、それぞれご記入ください。
- ・ ワープロ、タイプライターによる原稿を、該当箇所には張り付けても差し支えありません。
- ・ 研究分野によっては、「英文」は「欧文」と読替えてください。
- ・ 文字は、コンピュータ処理のために一定の置き換えを行うことがありますので、ご了承ください。
- ・ 使用する漢字には、原則としてJIS第一、第二水準文字をお使いください。なお、下記の文字は使用可能です。
塚崎徳瀨神諸頼青高黒、①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩、ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ
- ・ 欄、記入箇所が足りない場合は、適宜用紙をコピーするなどして補い、補った用紙は調査票に綴じてください。
- ・ 提出いただいた個人調査票に不明な点があった場合には、当事業団から照会する場合がありますので、よろしくをお願いします。

【登録情報の修正等について】

お送りいただいた回答結果は、平成14年3月までに事業団が順次入力、データベースに登録しますが、ご自分の情報について訂正等が必要な場合は、随時事業団にご連絡いただければ訂正します。

また、ReaDでは「研究者ID」を使って、随時Webからご自分のデータを修正していただくことができます。研究者IDの申請は、所属機関の管理者経由で行っていただきます。詳しくはReaDホームページ「アンケートに回答される方へ」から、「ID申請について」をご覧ください。

5. 項目ごとの詳細説明

記入例には「新規調査票」の書式を用いておりますので、「継続調査票」とは若干書式が異なります。

1 調査票記入日 (必須)

調査票をご記入頂いた日付を西暦でご記入ください。

(記入例)

(西曆)	2	0	0	2	年	1	1	月	1	1	日
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2 インターネットでの一般公開の可否（必須）

- ・全項目についてインターネットでの公開を希望されない場合は「非公開」を、そうでない場合は「公開可」を○で囲んでください。Readでは、研究開発活動の情報面での支援と研究情報の公開を目的として、調査結果のインターネット公開にご協力いただいております。ご記入の無い場合は公開「可」として扱わせていただきます。
- ・項目毎に「公開可・非公開」が選べる項目は、ここで「公開可」を選択しても、その項目だけ「非公開」にできません。
- ・項目名の右横に「非公開（統計用）」とある項目は、ここで「公開可」を選択しても公開されません。

(記入例)

①. 公開可 2. 非公開

3 氏 名 (必須)

- ・ カナ、漢字、ローマ字でそれぞれご記入ください。
- ・ 「ローマ字」は、通常使用しているローマ字でご記入ください。英語サイトの「Name」には、ここに書かれたものを登録します。
- ・ 外国の氏名の場合は、「漢字（原語）」欄と「ローマ字」欄に記入し、「1. 外国氏名」を○で囲んでください。
- ・ 氏名の扱いで注意すべき点などは「特記事項」に記入し、「2. 特記事項あり」を○で囲んでください。

(記入例)

[illegible]

4 生年月日

- ・公開か非公開を選択できます。「公開可」を選択すると、生年月までが表示されます。
- ・生まれ年は、西暦でご記入ください。月日のみの記入は無効です。

(記入例)

(西曆)	1	9	3	1	年		1	月		3	1	日	①. 公開可 2. 非公開
------	---	---	---	---	---	--	---	---	--	---	---	---	---------------

5 性别

該当する番号を○で囲んでください。

※この項目は統計のみに使用しますので、インターネット上では公開されません。

[非公開（統計用）]

6 文部科学省科学研究費研究者番号

- ・お持ちの方のみ、8桁でご記入ください。
- ・8桁未満の場合は頭に0を足して8桁にし、8桁を超える場合は下8桁のみをご記入ください。

7 所属機関名（必須）

（日）のみご記入いただければ、（英）は機関毎に統一された固定名称をこちらで付与します。

（記入例）

（日）	国立ABC研究所
-----	----------

8 所属部署名

機関名と同一の場合は記入不要です。略さず正式名称をご記入ください。

（記入例）

（日）	非平衡物質工学研究部門
（英）	Non-equilibratory Material Engineering Research Division

9 職 名

- ・本務としての正式名称を記入し、対応する職名コードを、コード表の01.～12.または21.～24.から選択してください。学部長と教授など、兼務している場合は複数ご記入ください。
- ・本欄にあてはまる職名がない場合は、「13. その他」を選択してください。
- ・現在、名誉教授の称号をお持ちの方は、職名欄に「名誉教授（〇〇大学）」のように、授与大学（高等専門学校）名までご記入ください。

（記入例）

（日）1	職 名	部付主任研究官	職名コード	1	1
（英）1	職 名	Deputy Director of Department	職名コード	1	1
（日）2	職 名	名誉教授(科学技術大学)	職名コード	1	4
（英）2	職 名	Professor Emeritus (University of Science and Technology)	職名コード	1	4
コード表 01. 学長 02. 副学長 03. 教授 04. 助教授 05. 講師 06. 助手 07. 所長 08. 館長 09. 部長(学部長含む) 10. 室長 11. 主任研究員 12. 研究員 13. その他 14. 名誉教授 21. 大学院生(博士課程) 22. 日本学術振興会特別研究員 23. 日本学術振興会研究員 (リサーチ・アソシエイト) 24. 大学等非常勤研究員					

10 連絡先

原則として所属機関の連絡先を記入し、公開可否の該当する番号を○で囲んでください。

（記入例）

住 所（日）	郵便番号	〒 1 0 2 - 8 6 6 6	① 公開可	2. 非公開
東京 都 道 府 県	千代田区四番町5-3			
住 所（英）	郵便番号、都道府県名もご記入ください。		① 公開可	2. 非公開
5-3 Yonbancho, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-0081, Japan				

電話番号（日）	03-1234-5678	① 公開可 2. 非公開
電話番号（英）	+81-3-1234-5678	① 公開可 2. 非公開
FAX番号（日）	03-5678-1234	① 公開可 2. 非公開
FAX番号（英）	+81-3-5678-1234	① 公開可 2. 非公開

1.1 電子メールアドレス

- ・研究活動で利用している電子メールアドレスを記入し、公開可否の該当する番号を○で囲んでください。
- ・「公開可」を選択すると、英語サイトにも公開されます。

（記入例）

1	xxxx@abc.go.jp	① 公開可 2. 非公開
2	xxxx@def.ac.jp	1. 公開可 ② 非公開

1.2 ホームページURL（ご自身で開設されているもの）

ご記入いただいたURLは、英語サイトにも登録されます。

（記入例）

1	http://www.abc.go.jp/xyz-jp.html
2	

1.3 出身大学院・研究科等

- ・公開可否の該当する番号を○で囲んでください。
- ・原則として最終出身大学院についてご記入ください。最終出身大学院に相当するもの（学制上、最も上位の課程に相当するもの）が複数ある場合（大学院博士課程を複数の大学で修了した場合、等）は、複数記入が可能です。その場合は、重要と思われるものから順にご記入ください。

（1）大学院名

- ・大学院名に該当するコードをコード表Aからお選びください。その場合、名称の記入は不要です。
- ・該当するコードがコード表Aにない場合は「9999」を選び、略さず正式名称をご記入ください。
- ・外国の大学院の場合は、日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を（ ）で付記してください。

（2）修了年

大学院を修了した年を西暦でご記入ください。退学等の場合は、その年を西暦でご記入ください。

（3）研究科名

- ・研究科名に該当するコードをコード表Cからお選びください。その場合、名称の記入は不要です。
- ・該当するコードがコード表Cにない場合は「Z9」を選び、略さず正式名称をご記入ください。
- ・外国の大学院の場合は、日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を（ ）で付記してください。

（4）課程

- ・あてはまる番号を○で囲んでください。
- ・旧制度の学校や外国の学校を卒業している場合は、現在の我が国の学校制度にあてはめて相当する番号を○で囲んでください。

（5）学科・専攻等

- ・専攻名をできるだけ詳しくご記入ください。

- ・外国の大学院の場合は、専攻名を日本語で一般的に通用する名称でご記入の上、原語での名称を（ ）で付記してください。

(6) 修了区分

- ・大学院の修了について該当する区分を選び、その番号を○で囲んでください。

(7) 所在地

- ・出身大学院の所在地が、国内か国外かによって該当する番号を○で囲んでください。国外の場合は、その国名を日本語で一般的に通用する名称でご記入ください。

(記入例)

出身大学院・研究科等の公開可否										①. 公開可 2. 非公開						
1 (日)	大学院名	コードA	9	9	9	9	4桁のコードを左の欄へ記入				修了年(西暦)	1	9	6	5	
		名称	ABC大学													
	研究科名	コードC	Z	9	2桁のコードを左の欄へ記入				課程	①. 博士 2. 修士						
		名称	DEF研究科													
	専攻名	物理学														
	修了区分	①. 修了 2. 単位取得満期退学 3. 中退 4. 除籍 9. その他														
所在地	①. 国内 2. 国外 (国名:)															
1 (英)	大学院名	コードA	9	9	9	9	4桁のコードを左の欄へ記入				修了年(西暦)	1	9	6	5	
		名称	ABC University													
	研究科名	コードC	Z	9	2桁のコードを左の欄へ記入				課程	①. 博士 2. 修士						
		名称	DEF graduate course													
	専攻名	Physics														
	修了区分	①. 修了 2. 単位取得満期退学 3. 中退 4. 除籍 9. その他														
所在地	①. 国内 2. 国外 (国名:)															

1.4 出身学校・専攻等 (大学院を除く)

- ・公開可否の該当する番号を○で囲んでください。
- ・原則として大学院を除く最終出身学校についてご記入ください。相当するもの(学制上、最も上位の課程に相当するもの)が複数ある場合(複数の大学を卒業した場合、等)は、複数記入が可能です。その場合は、重要と思われるものから順にご記入ください。

(1) 学校名

- ・学校名に該当するコードをコード表Aからお選びください。その場合は名称をご記入いただく必要はありません。
- ・該当するコードがコード表Aにない場合は「9 9 9 9」を選び、略さず正式名称をご記入ください。
- ・外国の学校の場合は、日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を（ ）で付記してください。

(2) 卒業年

卒業した年を西暦でご記入ください。退学等の場合は、その年を西暦でご記入ください。

(3) 学校の種類

旧制度の学校や外国の学校を卒業している場合は、現在の我が国の学校制度にあてはめて相当する番号を○で囲んでください。

(4) 学部(学系)名

- ・最終出身学校が大学以外の場合には、この欄にご記入いただく必要はありません。
- ・出身学校が大学の場合、学部(学系)名に該当するコードをコード表Dからお選びください。その場合は学部名をご記入いただく必要はありません。

- ・学部（学系）名がコード表Dにない場合は「Z 9」を選び、略さず正式名称をご記入ください。
- ・外国の大学の場合は、日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を（ ）で付記してください。

(5) 専攻名

- ・出身学校が大学の場合には学科ないし課程名、短期大学及び高等専門学校の場合には学科・専攻名を記入するなど、出身学校における専攻をできるだけ詳しくご記入ください。
- ・外国の学校の場合は、日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を（ ）で付記してください。

(6) 修了区分

- ・出身学校での卒業等の扱いについて該当する区分を選び、その番号を○で囲んでください。

(7) 所在地

- ・出身学校の所在地が、国内か国外かによって、該当する番号を○で囲み、国外の場合その国名を日本語で一般的に通用する名称でご記入ください。

(記入例)

出身学校・専攻等の公開可否										①. 公開可 2. 非公開						
1 (日)	学校名	コードA	9	9	9	9	4桁のコードを左の欄へ記入				卒業年(西暦)	1	9	6	3	
		名称	ABC大学													
	学校の種類	①. 大学 2. 短大 3. 高専 4. その他														
	学部 (学系)名	コードD	Z	9	2桁のコードを左の欄へ記入											
		名称	DEF学部													
	学科・専攻等	XYZ学科														
	修了区分	①. 卒業 2. 中退 3. 除籍 4. 飛び級 9. その他														
所在地	①. 国内 2. 国外 (国名:)															
1 (英)	学校名	コードA	9	9	9	9	4桁のコードを左の欄へ記入				卒業年(西暦)	1	9	6	3	
		名称	ABC University													
	学校の種類	①. 大学 2. 短大 3. 高専 4. その他														
	学部 (学系)名	コードD	Z	9	2桁のコードを左の欄へ記入											
		名称	DEF													
	学科・専攻等	XYZ														
	修了区分	①. 卒業 2. 中退 3. 除籍 4. 飛び級 9. その他														
所在地	①. 国内 2. 国外 (国名:)															

1.5 取得学位

(1) 取得学位名

- ・現在までに取得している修士・博士の名称をご記入ください。
- ・2種類以上の学位を取得している場合は、重要と思われるものからご記入ください。
- ・同一名称が付せられている修士と博士の学位でも両方を取得している場合は、両方ともその名称をご記入ください。
- ・名誉博士号については記入しないでください。
- ・平成3年7月の学位規則改訂後に国内で学位を取得された方は、学位名と学位名の専攻分野を（ ）でご記入ください。
- ・外国の学位を取得している場合には、日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を（ ）で付記してください。

(2) 取得方法

あてはまる学位の取得方法を1つ選び、○で囲んでください。

(3) 学位取得大学

- ・大学名に該当するコードをコード表Aからお選びください。その場合は名称の記入は不要です。
- ・該当するコードがない場合は、コード欄は空欄にし、「学校名」に正式名称を略さずご記入ください。
- ・外国の学校の場合は、日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、() 内に国名をご記入ください。

(4) 取得学位分野

- ・取得した学位の分野に該当するものをコード表Fからお選びください。
- ・取得した学位の分野に該当するものがコード表Fにない場合には、最も近いと思われる分野のコードを選択し、取得した学位の分野を最も的確に表現する名称をご記入ください。

(記入例)

1 (日)	取得学位名	博士(工学)											
	取得方法	① 課程 2. 論文 3. 大学評価・学位授与機構											
	学位取得 大学	コードA					4桁のコードを左の欄へ記入						
		名称(国名)	XXXX 大学(アメリカ合衆国)										
	取得学位 分野	コードF	3	0	1	3桁のコードを左の欄へ記入							
分野名称													
1 (英)	取得学位名	Doctor(Engineering)											
	取得方法	① 課程 2. 論文 3. 大学評価・学位授与機構											
	学位取得 大学	コードA					4桁のコードを左の欄へ記入						
		名称(国名)	XXXX University (U.S.A.)										
	取得学位 分野	コードF	3	0	1	3桁のコードを左の欄へ記入							
分野名称													

1.6 現在の専門分野

- ・コードR (ReaD 研究分野コード) とコードF (科研費分類コード) は、両方ともご記入ください。

(記入例)

[ReaD 研究分野コード (コード表 R)]

- ・この分類は ReaD でのカテゴリ検索に利用されます。記入がない場合、カテゴリ検索時にヒットしません。
- ・該当するコードがない場合は、最も近いと思われる分野のコードをご記入ください。

1	J	A	0	1	2					3					4					5				
---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	---	--	--	--	--	---	--	--	--	--	---	--	--	--	--

[研究分野を表すキーワード]

- ・研究分野を適切に表すキーワードがあれば、できるだけ日本語と英語を対応させてご記入ください。

(日)	WWW, 情報検索, ハイパーテキスト
(英)	WWW, Information Retrieval, Hypertext

[科研費分類コード (コード表 F) : 「科学研究費補助金系・部・分科・細目」にならっています。]

- ・この分類は国の統計に使用されます。必ずご記入ください。
- ・現在の専門分野に相当するコードがある場合は「コードF」欄にご記入ください。その場合は名称を記入する必要はありません。
- ・現在の専門分野に相当するコードがない場合は、現在の専門分野を最も的確に表現する名称を「名称」欄に記入の上、最も近いと思われるコードを「コードF」欄にご記入ください。
- ・専門分野が複数ある場合には、重要と思われる順にご記入ください。

(記入例)

1	4	2	4	3桁のコードを左の欄へ記入
	名称 (日)	情報理論		
	名称 (英)	Information Theory		

1 7 現在の研究課題

NACSIS・Read 双方のデータベース統合の際の機械処理のため、データが不適切に区切られていることがあります。その場合はお手数ですが、修正をお願いいたします。

(1) 研究課題名

現在の研究課題名をできるだけ簡潔にご記入ください。

(2) キーワード

研究課題の内容を最もよく表す用語をご記入ください。

(3) コード

- ・コードR (Read研究分野コード) とコードF (科研費分類コード) は、両方ともご記入ください。
- ・コードRは「Read研究分野コード (コード表R)」から、コードFは「科研費分類コード (コード表F)」から、研究課題が密接に関連している専門分野をお選びください。

(4) 研究態様

該当する番号を1つ選び、○で囲んでください。

(5) 研究開始年、研究終了年

研究を開始した年と終了した年 (または終了予定年) を西暦でご記入ください。

(6) コードS

「研究制度コード (コード表S)」から1つお選びください。

(記入例)

1 (日)	研究課題	高電圧放電現象に関する研究															
	キーワード	高電圧, 放電, 放熱															
	コードR	B	J	0	3												4桁のコードを左の欄へ記入
	コードF	3	2	1	3	2	2										3桁のコードを左の欄へ記入
	研究態様	1. 個人研究 ②. 機関内共同研究 3. 国内共同研究 4. 国際共同研究															
	研究開始年 (西暦)					1	9	9	5								
	研究終了年 (西暦)														2	0	0
1 (英)	コードS	0	0	9	2												4桁のコードを左の欄へ記入
	研究課題	Study on High Voltage and High Pressure Phenomena															
	キーワード	High Voltage, Electric Discharge, Heat Radiation															
	コードR	B	J	0	3												4桁のコードを左の欄へ記入
	コードF	3	2	1	3	2	2										3桁のコードを左の欄へ記入
	研究態様	1. 個人研究 ②. 機関内共同研究 3. 国内共同研究 4. 国際共同研究															
	研究開始年 (西暦)					1	9	9	5								
	研究終了年 (西暦)														2	0	0
1 (英)	コードS	0	0	9	2												4桁のコードを左の欄へ記入

18 研究経歴

- ・できるだけ日本語と英語が対応するようご記入ください。
- ・研究に携わった西暦年及び研究内容を、年代順にご記入ください。

(記入例)

(日)	1995-2000 ABCについての研究に従事
(英)	1995-2000 Engaged in research on the ABC

19 研究職歴

- ・公開可否の該当する番号を○で囲んでください。
- ・できるだけ日本語と英語が対応するようご記入ください。
- ・学校を修了して以降、研究に関する職についていた西暦年及び職名を、年代順にご記入ください。
- ・プロジェクトへの参加については、こちらへご記入ください。

※ なお、「研究に関する職」とは、調査対象機関での研究に従事する職の他、大学等の非常勤講師、官公庁及び企業等の研究員、小中高等学校等の教員、博物館・美術館の学芸員の職、等が該当します。

(記入例)

研究職歴の公開可否		①. 公開可 2. 非公開
(日)	(通常の記入例) 1996-1997: ABC大学工学部 助手 (プロジェクトの記入例) 1997-2001: 科学技術振興事業団 創造科学推進事業「過冷金属プロジェクト」研究員	
(英)	(通常の記入例) 1996-1997: Research Associate, Faculty of Engineering, University of ABC (プロジェクトの記入例) 1997-2001: Researcher, Superliquid Glass Project, ERATO, JST	

20 受賞学術賞

NACSIS・Read 双方のデータベース統合の際の機械処理のため、データが不適切に区切られていることがあります。その場合はお手数ですが、修正をお願いいたします。

(1) 受賞学術賞名

- ・国内・国外の学術賞を問わず、これまでに受賞した学術賞の名称をご記入ください。2種類以上の学術賞を受賞している場合は、主なものからご記入ください。
- ・国外で受賞している場合には、日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を()で付記してください。

(2) 受賞年

受賞した年を西暦でご記入ください。

(3) 国内外別

受賞した学術賞が国内のものか、国外のものか、該当する番号を○で囲んでください。

※対象となる学術賞は、学術的な業績・功績に対して、次のような機関により授与された賞をいいます。

[国、地方公共団体、学協会、新聞社、財団、国際機関、外国政府等]

(記入例)

1 (日)	受賞学術賞名	アメリカ宇宙協会 会長賞 (ASS President Award)									
	受賞年(西暦)	1	9	9	0	国 内 外 別				1. 国内 ②. 国外	
1 (英)	受賞学術賞名	ASS President Award									
	受賞年(西暦)	1	9	9	0	国 内 外 別				1. 国内 ②. 国外	

2 1 所属学会

(1) 所属学会名

- ・国内・国外の学会を問わず、所属学会名をご記入ください。2種類以上の学会に所属している場合は、主なものからご記入ください。
- ・所属団体が学会という名称でなくても、学術研究を目的とする団体は学会とみなしてください。
- ・国外の学会の場合は、日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を（ ）で付記してください。

(2) 役職名

- ・役職（会長、理事等）を担当している場合、又はこれまでに担当した場合、その名称をご記入ください。
- ・会員のみの場合には、ご記入いただく必要はありません。

(3) 担当年度

- ・学会で役職を担当した年度を西暦でご記入ください。
- ・複数年にわたる場合は「－」の前後に開始年と終了年をご記入ください。なお、現在も継続している場合は「－」の前に担当開始年のみをご記入ください。

(4) 国内外別

所属する学会が国内のものか、国外のものか、該当する番号を○で囲んでください。

(記入例)

1 (日)	所属学会名	応用物理学会									
	役職名	理事									
	役職担当年度(西暦)	1	9	8	3	－	1	9	9	0	国内外別 ①. 国内 2. 国外
1 (英)	所属学会名	The Japan Society of Applied Physics									
	役職名	Director									
	役職担当年度(西暦)	1	9	8	3	－	1	9	9	0	国内外別 ①. 国内 2. 国外

2 2 共同研究等希望テーマ

産学連携で行う共同研究等を希望するテーマがある場合、そのテーマについてご記入ください。

(1) 共同研究希望テーマ

希望する共同研究のテーマをできるだけ簡潔にご記入ください。

(2) 共同研究実施形態コード

下記の説明を参照し、1または2の該当する番号をご記入ください。

1. 産学連携、民間を含む他機関等との共同研究等

次の(イ)から(ニ)に該当するものとします。

(イ) 大学等研究機関が受け入れる各府省等の競争的資金制度

この調査では、次の「競争的資金制度」に該当するもの。

(平成13年度の場合)

省庁名	担当機関	制度名
総務省	本省	情報通信ブレークスルー基礎研究 21 における公募研究

	通信・放送機構	量子情報通信技術の研究開発
		周波数資源開発公募研究
		情報通信分野における基礎研究推進制度
		ギガビットネットワーク利活用研究開発制度
		新たな通信・放送事業分野開拓のための先進的技術開発(テレコムイノベーション)
文部科学省	本省・日本学術振興会	民間基盤技術研究促進制度
		科学研究費補助金
	科学技術振興事業団	科学的創造研究推進事業
		科学技術振興調整費
		提案公募による革新的な技術開発プロジェクト
厚生労働省	本省	未来開拓学術研究推進事業
		厚生科学研究費補助金
農林水産省	本省医薬品副作用被害救済研究振興調査機構	基礎研究推進事業出資金
		新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業
農林水産省	生物系特定産業技術研究推進機構	新事業創出研究開発事業
		農林水産新産業技術開発事業
農林水産省	社団法人農林水産先端技術産業振興センター	バイオニア特別研究
		産業技術研究助成事業費
経済産業省	新エネルギー・産業技術総合開発機構	新規産業創造型提案公募事業
		運輸分野における基礎的研究推進制度
国土交通省	運輸施設整備事業団	建設技術研究開発助成制度
		地球環境研究総合推進費
環境省	本省	環境技術開発等推進費(平成12年度までは「未来環境創造型基礎研究推進費」)
		廃棄物処理等科学研究費補助金

(ロ) 民間企業との共同研究制度

民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、または、研究経費を受け入れて、大学等の研究者と民間企業等の研究者とが共同で行うもの。

(ハ) 受託研究制度

民間企業等外部から委託を受けて大学の研究者が実施するもの。経費は委託者が負担し、上記(イ)「出資金事業に係る受託研究」以外の、政府、地方公共団体や民間企業等からの研究協力依頼によるもの。

(ニ) 受託研究員制度

民間企業等から現職の研究者や技術者を受託研究員として受け入れ、大学院レベルの研究の指導を実施するもの。

2. 大学等の研究機関との共同研究

上記1.の産学連携による共同研究とは異なり、専ら、大学等の研究機関の研究者との共同研究を予定している場合は、この番号をお選びください。この場合、経費については問いません。例えば科学研究費補助金による総合的な研究等が該当します。

(3) 産学連携協力可能形態コード

共同研究等による産学連携の希望がある場合、その実施形態について該当するコードを選択し、その番号をご記入ください。この場合の実施形態は次の目安でお選びください。

1. 技術相談：研究テーマについて企業等の研究者等からの相談に応じる程度の対応を予定している場合。
2. 受託研究：研究経費について受け入れを行い、専ら、当該研究者側の主導で研究を行う場合。
3. 共同研究：企業等の研究員を当該大学側に受け入れ、当該研究者と対等の立場で共同研究を行う場合。

国立学校及び企業等において共通の課題について行う研究で、国立学校において企業等から研究者及び研究経費等又は研究経費を受託する場合。

(記入例)

1 (日)	共同研究等希望テーマ	免疫抑制剤の作用機序に関する研究		
	実施形態コード	1	産学連携協力可能形態コード	3
1 (英)	共同研究等希望テーマ	Research on Mechanism of Action in Immunosuppressor		
	実施形態コード	1	産学連携協力可能形態コード	3
実施形態コード： 1. 産学連携、民間を含む他機関等との共同研究等を希望する。 2. 大学等の研究機関との共同研究を希望する。				
産学連携協力可能形態コード： 1. 技術相談 2. 受託研究 3. 共同研究 9. その他				

2.3 共同研究・受託研究の実績

(1) 共同研究名

既に実施された共同研究名をできるだけ簡潔にご記入ください。

(2) 実施年

共同研究を実施した年を西暦でご記入ください。

複数年にわたる場合は「-」の前後に開始年と終了年をご記入ください。なお、現在も継続している場合は「-」の前に担当開始年のみをご記入ください。

(3) 共同研究実施形態コード

共同研究の実施形態について、該当するコードを選択し、その番号をご記入ください。なお、それぞれの値は次の目安でご選択ください。

1. 学内共同研究：当該共同研究に、学外者が加わっていない共同研究。経費については問いません。
 2. 国内共同研究：専ら、大学等の研究機関の研究者の参加を得て実施された共同研究。この場合、経費については問いません。例えば科学研究費補助金による総合的な研究等が該当します。
 3. 出資金による受託研究：「出資金事業に係る受託研究制度」により行われた受託研究。
この調査では、13-14 ページの表に該当する経費を充用して実施された研究が該当します。
 4. 企業等からの受託研究：「民間企業との共同研究制度」、「受託研究制度」、「受託研究員制度」など、民間企業等からの研究経費を受けて行われた研究。
 5. 国際共同研究：国際的な規模で共同研究が行われたもの。経費については問いません。
- ※ 共同研究実施形態コードは下欄をご参照ください。

(記入例)

1 (日)	共同研究名	免疫抑制剤の作用機序に関する共同研究									
	実施年(西暦)	1	9	9	9	-	2	0	0	0	共同研究実施形態コード 3
1 (英)	共同研究名	Joint Research on Mechanism Action in Immunosuppressor									
	実施年(西暦)	1	9	9	9	-	2	0	0	0	共同研究実施形態コード 3
共同研究実施形態コード： 1. 学内共同研究 2. 国内共同研究 3. 出資金による受託研究 4. 企業等からの受託研究 5. 国際共同研究 9. その他											

2.4 研究業績（著書、発表論文等）

- ・(日)には標題が日本語名と外国名のものを両方、(英)には外国名のもののみをご記入ください。
 - ・項番 24～26「研究業績」欄は、記入する代わりに、研究者が独自に作成している研究業績リストを ReaD 研究者調査票に添付しても差し支えありません。
- ただし、その場合は、本欄の項目と研究業績リストの内容の対応が明確にとれるように、次ページ「研究業績リスト指示例」をご参照の上、リストに指示をしてください。指示がない場合は、入力ミスの原因となりますので、的確な指示をお願いします。

また、添付する研究業績リストは、ReaD 研究者調査票に綴じてください。

電子ファイルがございましたらフロッピーディスクに保存し、調査票と一緒に封筒に入れてご提出いただければ幸いです。

(1) 表示順

著書・発表論文等が複数ある場合は、表示の順番を指定してください。番号の若い順に表示します。未記入の場合は、記入順に表示されます。

(2) 著書名又は発表論文の標題

- ・著書、発表論文（共同執筆を含む）以外に口頭発表、翻訳本などを含めても差し支えありません。
- ・外国語で発表した著書又は発表論文については（日）（英）の両方に原語で記入し、日本語で発表した著書又は発表論文については（日）のみにご記入ください。
- ・記念論文集等の単行本に論文として発表したものについては、その論文の標題をこの欄に記入し、論文集全体の標題は、出版社とともに「出版社又は掲載誌名」欄にご記入ください。
- ・共著の場合は、標題の末尾に「（共著）」と補記してください。
- ・記入欄が足りない場合は、用紙をコピーするなどして補ってください。

(3) 出版社又は掲載誌名

単行本の場合は出版社名を、それ以外の場合は掲載誌の名称を、できるだけ略さずにご記入ください。

(4) 種別

該当する番号を○で囲んでください。

(5) 巻号頁

掲載誌の巻・号・頁（開始頁－終了頁）をご記入ください。単行本の場合は記入の必要はありません。

(6) 出版年

単行本又は掲載誌の出版年を西暦でご記入ください。

複数年にわたる場合は、「－」で開始年と終了年をご記入ください。現在も継続している場合は、開始年の末尾に「－」を付けてください。

研究業績リスト指示例（標題、掲載誌、巻号、頁、出版年、掲載誌の種類を下枠内の記号で指示してください）

標題が日本語の場合は（日）のみに、標題が英語の場合は（日）（英）両方に登録します。

TJ
/ 「厚い Fe 基金属ガラス合金白薄帯の構造と磁気特性」 /、科学太郎、
/ 「日本応用磁気学会誌」 /、21(4-2)、/ 613-616、/ 1997、/ 学術雑誌

<i>TJ</i>	<i>V</i>	<i>P</i>	<i>Y</i>	<i>C3</i>
TJ: 標題 (和)	V: 巻号			(掲載誌の種類)
TE: 標題 (洋)	P: 頁			C1: 単行本
JJ: 掲載誌 (和)	Y: 出版年			C2: 大学・研究所等紀要
JE: 掲載誌 (洋)				C3: 学術雑誌
				C4: その他

(記入例)

1 (日)	表示順	1		
	著書又は発表論文の標題			
	Lunar Lander and Rover Mission : Proposal of Unmanned Geologic Exploration			
	出版社又は掲載誌名			
	Proceedings of the 1st Space Science Symposium			
	種別	1. 単行本 ②. 大学・研究所等紀要 3. 学術雑誌 4. その他		
巻号頁	Vol.1 pp.91-98	出版年(西暦)	2001	
1 (英)	表示順	1		
	著書又は発表論文の標題			
	同上			
	出版社又は掲載誌名			
	種別	1. 単行本 2. 大学・研究所等紀要 3. 学術雑誌 4. その他		
巻号頁		出版年(西暦)		
2 (日)	表示順	2		
	著書又は発表論文の標題			
	デジタル統合通信方式序論			
	出版社又は掲載誌名			
	ABC大学出版会			
	種別	①. 単行本 2. 大学・研究所等紀要 3. 学術雑誌 4. その他		
巻号頁		出版年(西暦)	1993-1995	
2 (英)	表示順			
	著書又は発表論文の標題			
	出版社又は掲載誌名			
	種別	1. 単行本 2. 大学・研究所等紀要 3. 学術雑誌 4. その他		
巻号頁		出版年(西暦)		

2.5 研究業績(特許)

- ・すでに公開された特許についてご記入ください。
- ・(日)には名称が日本語と外国名のものを両方、(英)には外国名のもののみをご記入ください。
- ・発表論文等と同様に研究者の研究実績を表すデータとして扱いますので、所有関係ではなく、発明者である特許についてご記入ください。

(1) 表示順

特許が複数ある場合は、表示の順番を指定してください。番号の若い順に表示します。未記入の場合は、記入順に表示されます。

(2) 特許番号

出願公開番号又は特許番号をご記入ください。

(3) 特許名

EPC 特許、PCT 特許の場合は、特許名の後ろに () 書きで、指定国名を略さずにご記入ください。

(記入例)

1 (日)	表示順	1
	特許番号	USP1234567
	特許名	The manufacture method of molding sand
1 (英)	表示順	1
	特許番号	同上
	特許名	
2 (日)	表示順	2
	特許番号	特許第1234567号
	特許名	鑄物砂の製造方法
2 (英)	表示順	
	特許番号	
	特許名	

2.6 研究業績（芸術系の活動、フィールドワーク等）

- ・ 項番 24、25 に該当しない研究業績（社会活動、地域活動等を含む）をご記入ください。
- ・ （日）には名称が日本語と外国名のを両方、（英）には外国名のもののみをご記入ください。

(1) 表示順

複数ある場合は、表示の順番を指定してください。番号の若い順に表示します。未記入の場合は、記入順に表示されます。

(2) 研究年

単行本又は掲載誌の出版年を西暦でご記入ください。

複数年にわたる場合は、「－」で開始年と終了年をご記入ください。現在も継続している場合は、開始年の末尾に「－」を付けてください。

(3) 研究業績名

本欄には、例えば芸術作品・活動、建築作品名、フィールドワークその他が該当します。

(4) 業績の種類

該当する番号を○で囲んでください。

(記入例)

1 (日)	表示順	1	研究年（西暦）	1992-1998
	研究業績名	エジプトアスワン地方における考古学的調査		
	業績の種類	1. 芸術活動・建築作品等 ②. フィールドワーク 9. その他		
1 (英)	表示順	1	研究年（西暦）	1992-1998
	研究業績名	Archaeological Survey in Aswan Province, Egypt		
	業績の種類	1. 芸術活動・建築作品等 ②. フィールドワーク 9. その他		

2.7 海外研究活動のための渡航回数（2001 年度実績）

海外での研究活動のうち、海外在留期間 2 週間以上のものと 2 週間未満のものについて、その渡航回数をご記入ください。

記入がない場合は 0 回とみなします。

※ この項目は統計のみに使用しますので、インターネット上では公開されません。

(記入例)

[非公開 (統計用)]

在留期間2週間以上のもの	計	2	回
在留期間2週間未満のもの	計	1	回

28 海外での国際会議・学会等への出席回数及び発表回数 (2001 年度実績)

海外で開催された国際会議・学会等の学術集会への出席回数及び発表回数を、渡航旅費・滞在費等の所要経費の負担者別にご記入ください。

記入がない場合は0回とみなします。

渡航旅費と滞在費の負担者が異なる場合には、渡航旅費の負担者でご記入ください。

※ この項目は統計のみに使用しますので、インターネット上では公開されません。

(記入例)

[非公開 (統計用)]

所要経費の主たる負担者	出席回数	発表回数
主催者	2 回	1 回
外国機関	0 回	0 回
文部科学省・日本学術振興会	0 回	0 回
文部科学省・日本学術振興会以外の政府関係機関	0 回	0 回
所属機関	0 回	0 回
財団等(寄付金・委任経理金含みます)	1 回	1 回
自費	0 回	0 回
計	3 回	2 回

29 使用する外国語

・国際的な学会等において研究成果の発表を行う場合又は国際的な学術雑誌等に発表する論文を執筆する場合には、主に使用する外国語について、該当する番号をお選びください。(複数選択可)

・「その他」を選んだ場合は、その外国語の種類を日本語で一般的に通用する名称でご記入ください。

※ この項目は統計のみに使用しますので、インターネット上では公開されません。

(記入例)

[非公開 (統計用)]

・国際的な学会等での研究会で研究成果の発表に主に用いるもの

①. 英語 2. フランス語 3. スペイン語 4. ロシア語 5. ドイツ語 6. 中国語
7. その他 (名称:)

・国際的な学会等に発表する論文の執筆に主に用いるもの

1. 英語 2. フランス語 3. スペイン語 4. ロシア語 5. ドイツ語 6. 中国語
⑦. その他 (名称: オランダ語)

30 おすすめURL

研究活動を行う際に役立つWebサイトを、幅広い観点からご紹介ください(ジャンルは問いません)。

(1) おすすめURL

活字体でご記入ください。

(2) コードR

最も近いと思われるコードをコード表R (ReaD 研究分野コード) から選び、第1階層のコード(先頭1桁)のみをご記入ください。

(3) URLタイトル

Webサイトの名称を、できる限りご記入ください。

(4) おすすめ理由

コンテンツの概要と具体的な利用目的などをご記入ください。

<おすすめ理由例>

- ・調査に有用 ・有用な情報源 ・論文執筆時に利用できる
- ・学会発表、出張など研究活動を支援するTip集 など。

※ おすすめURLにご記入いただく場合、URL及びタイトル、コードRは必須となります。

(記入例)

1 (日)	おすすめURL	http://www.jstage.jst.go.jp/ja/index.html	コードR	A
	URLタイトル	科学技術情報発信・流通総合システム		
	おすすめ理由	学会誌などの電子ジャーナル化とインターネットによるその公開の支援		
1 (英)	おすすめURL	http://www.jstage.jst.go.jp/en/index.html	コードR	A
	URLタイトル	Japan Science and Technology Information Aggregator, Electronic		
	おすすめ理由	Electronic journal of academic journals, etc. and support of the open by Internet.		

3 1 提供可能な資源（試作品、実験材料、データ等）

外部に提供可能な試作品等で、公開可能なものがあれば、名称をご記入ください。

(記入例)

資源名称(日)	構造数値解析プログラム
資源名称(英)	Computer Program for Analysis of Structure System

3 2 研究者写真〔日英両方のサイトに掲載します〕

写真の掲載を希望される場合は 1 を選択の上、調査票と一緒に送りいただければ、事業団でデジタル化して掲載します。

3 3 その他

公開を希望される情報があればご記入ください。

記入された個人調査票は、貴機関の管理者または事務局等の窓口へご提出ください。
ご協力、ありがとうございました。